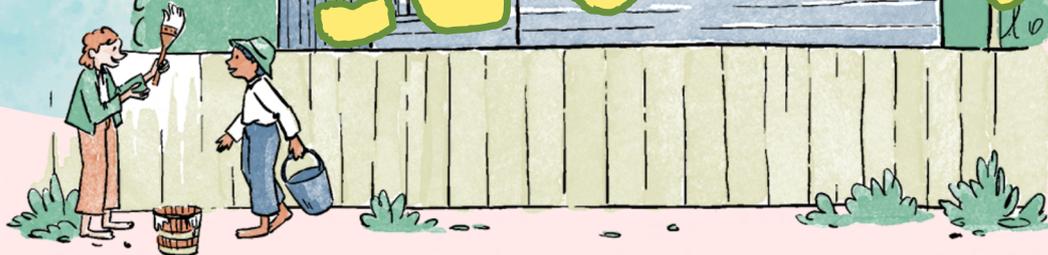


MIYAGAKU こどもフォーラム



参加
無料

こどもと地域がつながる場づくり
～これからの一歩へ、キックオフ!～

2025 2.25 13:15 ▶ 16:30
12 30

会場

来場・オンラインのハイブリッド開催

[来場] 宮崎学園短期大学 4号館35教室
宮崎市清武町加納丙 1415番地

[オンライン] Zoomミーティング

URLは申込された方にお送りいたします

子どもが一人の人として尊重され、子育て家庭が安心して暮らせる。そのようなやさしく温かい社会の実現に向け、宮崎国際大学・宮崎学園短期大学は、地域子育て支援の拠点づくりを通して、学生とともに、未来の価値づくりへの一歩を踏み出します。

本フォーラムでは、地域と子ども・地域と子育て家庭のつながりに着目し、子どももおとなも、一人ひとりが自分を大切に暮らしていける場づくりについて考え、宮崎県の子育て支援及び幼児教育・保育の発展に寄与していくための学びと知見を得ることを目指します。

なお、本フォーラムは、幼稚園・認定こども園に勤務される方のキャリアアップ研修（処遇改善加算II）に該当する研修会とします。



12:30	受付・Zoom入室
13:15	開会
13:25	<第1部> ・行政説明 ・基調講演
14:20	休憩
14:30	<第2部>（シンポジウム） ・話題提供 ・事例発表 ・参加者同士の対話 ・語りあい
16:30	閉会

SPEAKER/基調講演・指定討論者
宮里 暁美 氏

お茶の水女子大学 お茶大アカデミック・
プロダクション寄附講座 教授
宮崎学園短期大学 客員教授



SPEAKER/事例発表
片野坂 千恵 氏

NPO法人みやざき子ども文化センター
理事兼事務局長



SPEAKER/事例発表
松崎 亮 氏

三股町社会福祉協議会
コミュニティデザインラボ所長



SPEAKER/話題提供
後藤 祐子 氏

宮崎学園短期大学保育科
学科長



SPEAKER/行政説明
小浜 良太 氏

宮崎県福祉保健部こども政策局
こども政策課 計画担当

お問合せ

宮崎国際大学・宮崎学園短期大学 幼児教育・保育センター
0985-85-0146（代表）受付時間 10時～17時〔月～金〕
youho-center@mgjc.ac.jp（担当：小川・山下）

お申込みは
こちらから



申込期日 2月18日(火)

後援

宮崎県 宮崎市 宮崎県教育委員会 宮崎市教育委員会 一般社団法人宮崎県保育連盟連合会 一般社団法人宮崎県幼稚園連合会
特定非営利活動法人全国認定こども園協会宮崎支部 三股町社会福祉協議会 NPO法人みやざき子ども文化センター
NHK宮崎放送局 MRT宮崎放送 UMKテレビ宮崎 宮崎日日新聞社

こどもと地域がつながる場づくり

～これからの一歩へ、キックオフ!～

2025 **2.25** 13:15 ▶ 16:30
12 30



参加
無料

会場

来場・オンラインのハイブリッド開催

[来場] 宮崎学園短期大学 4号館35教室
[オンライン] Zoomミーティング

プログラム

12:30 受付・ZOOM入室開始
13:15 開会 ——主催者挨拶 (宮崎国際大学・宮崎学園短期大学学長 村上 昇)

13:25

第1部

(1) 行政説明 (13:25～)

宮崎県のこども施策の動向について

小浜 良太氏

宮崎県福祉保健部こども政策課
こども政策課 計画担当



(2) 基調講演 (13:40～)

「幸せに生きる」って、どういうこと?

宮里 暁美氏

お茶の水女子大学お茶大アカデミック・プロダクション寄附講座教授
宮崎学園短期大学客員教授



お茶の水女子大学卒業。静岡、東京で国立幼稚園教諭を経て、2007年に同大学附属幼稚園副園長。秋篠宮ご夫妻のご長男悠仁さまが同幼稚園に3年間通われた当時、成長を見守った。国立大学初のこども園である、文京区立お茶の水女子大学こども園前園長。お茶の水女子大学特任教授。現在はお茶大アカデミック・プロダクション寄附講座教授、文京区立お茶の水女子大学こども園運営アドバイザーとして園運営をサポートしている。NHK・Eテレ「すくすく子育て」に準レギュラーとして出演中。子どもの姿に「耳をすますこと、目をこらすこと」を心がけ、30年以上、保育の現場や保護者養成に従事。2男1女の母。

14:20

14:20～14:30 (休憩)

14:30

シンポジウム “場” のもつ力を引き出す

(3) 話題提供 (14:30～)

学生と共に取り組む「みんなのおうちプロジェクト」～さまざまな人が集う“場づくり”のはじまり～

後藤 祐子氏

宮崎学園短期大学保育科
学科長

大学卒業後、大分県の幼稚園にて幼稚園教諭として勤務。園で出会った障がいのある子どもとの関わりをきっかけに音楽療法士を目指し宮崎学園短期大学専攻科(音楽療法専攻)に入学。その後、宮崎学園短期大学に教員として入職し現在に至る。専門は保育音楽、音楽療法分野。宮崎学園短期大学こども音楽教育センターにて音楽療法士として障がい児・者を対象としたセラピーも続けている。



14:45

(4) 事例発表

テーマ① (14:45～)

私たちは、橋づくり職人～つながる、つなげる～

片野坂 千恵氏

NPO法人みやざき子ども文化センター
理事兼事務局長



大学卒業後、会計事務所へ就職。その後2004年にNPO法人みやざき子ども文化センターへ転職し、経理や子どもの体験事業を行う。その中で、2014年には子育て中の方が授乳やオムツ替えを行う場所を施設や店舗で行えるように「赤ちゃんの駅」の設置を企画し、現在は県内で450ヶ所以上の設置がある。また、2021年から「宮崎市子ども・子育て会議」の委員を務め、現在は子育て部会部長に拝命され、2025年度から始まる「宮崎市こども計画」の策定に携わっている。また、2022年から宮崎県の「みやざき社会貢献活動審査員」や2023年には「宮崎市住生活基本計画策定懇話会」の委員、さらには「第五次宮崎市地域福祉計画策定委員」にも就任。その他、2023年には、支援団体を支援するための団体「子育てフレストップセンター Co to CO (コトコ)」を立ち上げ、様々な支援団体からの相談を受けたり、助成金の申請などの支援を行ったりしている。現在は、主に「里親普及促進センターみやざき」の里親トレーナーとして、里親登録のみの研修や里親のためのスキルアップ研修を行っている。

テーマ② (15:05～)

何で変な学校を作るのか

松崎 亮氏

三股町社会福祉協議会
コミュニティデザインラボ所長



大学卒業後、社会福祉協議会に入職し地域福祉業務を担当。平成29年こどもの貧困支援に対して具体的な支援策を見つけれず悶々としていたところ、東京都文京区がおこなう「こども宅食」を知り、独自にリサーチ。平成30年4月、商業デザイナー等とチームを組み、こども宅食をローカライズした「みまたん宅食どうぞ便」を立ち上げ、コミュニティデザインによるアウトリーチの可能性を感じる。平成31年4月より、「自分たちのまちを、自分たちで楽しく」をコンセプトに、社協内に「COMMUNITY DESIGN LAB. (コミュニティデザインラボ)」を立ち上げ、2025年までに200の活動、2025人の地域活動者を生み出し、地域住民の活動で、地域課題の解決を目指すミッションを掲げ、目下活動中。令和5年から、地域の居場所トコトコ「夜よる学校プロジェクト」も進行中。厚生労働省「重層的支援体制整備事業国研修」ワーキンググループ委員(令和4年～)厚生労働省社会福祉推進事業「自治体におけるひきこもり相談支援の実施状況に関する実態把握及び効果的な実施方法に関する調査研究事業」検討委員(令和6年)厚生労働省「地域共生社会の実現に向けた分野横断的な地域づくりの手法に関する調査研究」検討委員(令和6年)

15:30

(5) 参加者同士の対話 (15:30～)

15:40

(6) 指定討論者によるコメントとフロア全体での語りあい (15:40～)

16:25

(指定討論者 宮里 暁美氏)



16:25 謝辞

(宮崎学園短期大学副学長 白石 知子)

16:30 閉会



お申込みは
こちらから



申込期日 2月18日(火)

